

つなぐ

宮城県涌谷高等学校

令和3年12月24日発行

佐々木悠貴さん(2年)・門脇珠央さん(2年)

涌高
ふれあい隊
防災チーム

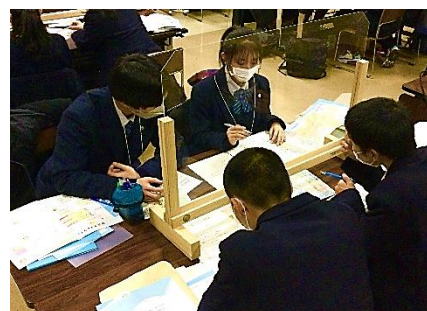
みやぎ防災ジュニアリーダーの認定を受ける



12月12日(日)に多賀城市文化センターで「令和3年度みやぎ防災ジュニアリーダー養成研修会」が行われ、本校から2年生の佐々木悠貴さんと門脇珠央さんが参加し、「みやぎ防災ジュニアリーダー」と「宮城県防災指導員」として認定されました。宮城県教育委員会主催で、多賀城高校災害科学科の2年生40名と仙南地区・大崎地区・栗原地区の24校から各2名の合計88名が参加した研修会でした。

午前中は、東松島市立矢本第一中学校校長の平塚真一郎先生から「防災ジュニアリーダーに期待すること」として、「当たり前は当たり前ではない。」「自ら考え判断し行動できる人になってほしい。日頃の学校生活を大切に。」ということなどをお話していただきました。また、本校の学校防災アドバイザーである東北大学災害科学国際研究所教授佐藤健先生からは、「自然災害の基礎と地域における災害対策」としてハザードマップの見方や大雨の警戒レベル、津波発生のメカニズム等についてお話していただきました。

午後からは、県内の高校の防災活動の実践発表を聴き、「マイタイムライン」を作るワークショップを行いました。「マイタイムライン」とは、「災害(今回は水害)発生を前提とし“①いつ”“②誰が”“③何をするか”に着目して、防災行動を時系列で整理した計画」です。多賀城高校災害科学科の生徒と意見を出し合いながらマイタイムラインを作成しました。



↑多賀城高校災害科学科の生徒とのワークショップ(マイタイムラインの作成)



↑マイタイムライン

<2人の感想>

●佐々木悠貴さん

他校の生徒と一緒にグループワークをすることで、違った考え方を知ることができました。マイタイムラインの作成は大変だったけど、協力してなんとか作成できました。また、災害が起こる前に前もって準備をして、災害時には焦らずに行動できるようにしたいです。

●門脇珠央さん

災害の前では、国・宗教・性別など関係なく皆共通だということを学びました。また、マイタイムラインの作成では、事前の準備がたくさんできると気づきました。今回学んだことを他の人にも伝えて、一人でも救える命が増えたらいいと思いました。

みやぎ防災ジュニアリーダーとは…

防災に関する知識や技術を習得し、防災や減災への取組に自発的に協力・活動する高校生

宮城県防災指導員とは…

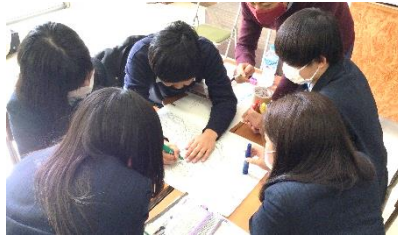
地域において防災活動の中心となる、地域防災リーダー

2 学年” DIG” で涌谷の災害特性を学ぶ ～総合的な探究の時間～

ディグ

DIG とは…

学校等の災害時拠点、防災倉庫やコンビニ等の地域防災に役立つ施設、過去に被害のあった危険箇所等を地図に書き込み、ゲーム感覚で地域の防災対策や災害時の対応を考えていく災害図上訓練です。名前の DIG は、Disaster（災害）・Imagination（想像力）・Game（ゲーム）の頭文字から命名されました。



←地図に書き込み



←まとめた対策を発表

10月28日（木）、11月4日（木）に2年生が総合的な探究の時間で「DIG」を行いました。グループに分かれ、涌谷町の白地図に河川や鉄道、避難所になる場所等を色を分けてペンで書き込み、災害リスクを付箋に書いて地図上に張りました。地域の災害特性を読み取った上で、その改善策をまとめました。最後に、自助（自分で自分の身を守ること）・共助（助け合い）と、発災前・発災後の観点に分けて対策を考え、グループごとに発表しました。

<生徒のコメント>（防災学習振り返りシートより一部抜粋）

●学んだこと・気づいたこと・感じたこと

- ・ 発災前に自分ができることがたくさんあると改めて知ることができた。他のグループの意見を聴いて自分が思いつかなかったことも知ることができた。
- ・ 改めて涌谷町は2つの川に挟まれていて氾濫したら危ないと思った。土砂崩れも危ない。
- ・ 涌谷に住んでいるから危険だと知っている場所もあるが、自分が知らなかった危険箇所も知ることができた。
- ・ 今回は涌谷町だったが、自分の住んでいる地域でも同じようなことが想定できると思った。

●今後災害が起きたとき・災害に備えて自分自身ができること

- ・ 今回涌谷町のことを知ることができた。今後自分の町のことでも改めて調べて知ることはできる。
- ・ まずは自分の命を優先にする。地域の人へ「逃げて!」の声がけくらいはできると思った。

兵庫県立舞子高校環境防災科とのつながり

涌高
ふれあい隊
防災チーム

9月末、兵庫県から突然涌谷高校生あてにおくりものが届きました。兵庫県立舞子高校環境防災科の皆さんから、涌高生へのメッセージカードでした。

8月に舞子高校の皆さんが防災研修で宮城県を訪れ、そのワークショップの一部に本校からも9名が参加する予定でした。しかし、コロナ禍の影響で8月の研修は延期されてしまいました。そこで、「またいつかお会いしましょう」というメッセージが届いたのです。その気持ちに応え、参加予定だった9名はお返事を書きました。

コロナ禍ということで「密」が避けられ、色々と「疎」になりつつあるご時世ですが、このようなつながりも生まれました。心温まります。

ちなみに、この研修会は1月9日（日）に延期されました。本校からも数名参加予定です!



←舞子高校からのメッセージ



←舞子高校へのメッセージ

デザインしてくれた2年生
相澤優里花さん
大場利凜さん

学校防災だより

涌高のHPでも見られます。

涌谷高校 学校だより

